

夢を持ち、共に学び続ける富丘の子

け:げんきな子 や:やさしい子 き:きいて伝える子

学 校 経 営 目 標

思いやりをもって、伝え合い、高め合って笑顔になる学校づくり
～誰一人取り残さない教育 Well-beingの実現～



伝統をつないでいきたい

校長 植松 宗一郎

先日、福祉会館で行われた四中校区の「二十歳を祝う集い」に参加しました。大中里の太鼓の演奏で始まり、祝辞として区長会小野田長様は、二十歳になったことの祝福と共に社会の役に立つようにがんばってほしいというお話をされました。また、四中吹奏楽部は演奏で先輩たちの二十歳をお祝いしていました。二十歳の代表の和田さんは、今進んでいる道はそれぞれ違うけれど共通している目的地は夢で、自分の人生に自分自身で責任を持って進んでいきたいという話をされました。今年度も昨年度同様に大変落ち着いた中での式典でした。

本校も、今年度、創立 150 周年を迎えました。1 月 28 日に、校内での記念集会を各区長と学校評議員の皆様、6 年生の保護者の皆様にご臨席いただく中で行うことができました。

本校では、150 周年をお祝いする方法を 6 年生に考えて実施してもらうことにしました。富士山学習(総合的な学習)の時間を使って 4 月から計画を練り、地域の方々や保護者の皆さまに教えていただきながら学んできました。

壁画チームは、グラウンドの汚れてしまっていた壁をととてもきれいにしてくれました。歴史チームは富丘小の歴史を調べて自分の通っている学校の歴史の深さを知りました。レシピチームは、地元の商店の方々に御指導いただきながら様々なレシピを考えいくつか調理してみて、食について学び、富丘小の地場産品である「いちご」、「ニジマス」や「^{みやび}雅ネギ」のよさを料理やお菓子に生かす方法を学ぶことができました。神輿チームは、御神輿を作って担いでお祭りしたり、お囃子を学んで演奏したり、宮おどりを踊ったりと 150 周年をお祝いできました。

1 月に参加した「二十歳を祝う集い」は、地元の方が市の方と二十歳の代表者が協力体制の中で、1 年かかって準備し開催されていました。本校の 150 周年祭も 6 年生のこどもたちが地域や保護者の支援をいただいて準備して実施できました。この 6 年生たちも将来この地元に残る人も、または富丘地区や富士宮から少し離れて生活したりする人もいるでしょう。しかし、この富丘地区で育ったこと、富丘小学校で学んだことに自信と誇りをもってさまざまな場面で活躍してほしいと思います。そして、これからも富丘地区の伝統を仲間とともに大切にしていける人になってほしいと感じました。

この場を借りまして、こどもたちの手による創立 150 周年記念行事に多大なる御協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

夢をもち、共に学び続ける 富丘の子

児童会引き継ぎ式



3学期が始まりましたが、3学期は次の学年へ向けての準備をする大事な学期です。1/29日に児童会引き継ぎ式が行われました。5年生が中心となり、委員会ごとに準備を進めていきました。集会は体育館に高学年、低学年にはリモート配信で行われました。一番はじめに5年生が整列を終え、静かに待つ様子にこどもたちの成長が感じられました。引き継ぎ式は、はじめに富丘盛り上げ隊委員長の杉山さんのあいさつから始まりました。各委員会ごとに、6年生から5年生に向けて頑張ってもらいたいことを伝えました。そして、委員会で使用していた道具を渡すと5年生が委員会を引き継いで頑張っていきたいことを話していきました。最後に、5年生の富丘盛り上げ隊委員長の山下さんから委員会を引き継ぎ、頑張っていきたいと6年生やこれから一緒に活動していく4年生の前で意気込みを伝えました。



150周年記念式典に向けて



富丘小学校創立150周年を迎え、12月には航空写真を撮りました。また、6年生を中心に記念式典に向けての用意に取り組み、着々と準備を進めていきました。150周年の記念として6年生が取り組んできた内容は、富丘ヒストリーをまとめたチーム、お祝いレシピに取り組んだチーム、壁画で祝うチーム、御神輿を作って発信するチームの四つに分かれて取り組んできました。記念式典の日にはそれぞれのチームが全校に発表し、みんなでお祝いをしました。今回のこどもたちの取組のために多くの方の御協力を得てきました。富丘小の卒業生や壁画の下地づくりに本校の保護者であるSANO塗装店の佐野様、神輿づくりに伊東建築の伊東PTA会長様、レシピづくりにうるおい亭やSweetee等地域の店や農家の方、壁画作成時に保護者の協力などをいただきました。詳しくは3月号で様子をお伝えしたいと思います。



寒さに負けずがんばってます。

寒さが厳しい中ですが、冬だからこそできる活動もあります。1年生は生活科で氷づくりに挑戦しました。(温暖化の影響もあり、なかなか難しいですが)体育では、準備運動をしてから持久走で決められた時間の中でどれくらい走れるか自分の記録に挑戦しています。また、縄跳びでは時給跳びや種目跳びができるように取り組んでいます。



PTA古紙回収

1/19(日)PTA古紙回収が行われました。多くの方に参加していただき、ありがとうございました。集めた古紙は、子供たちのために有効に活用させていただきます。

シベリアのバイオリン

1/10に「シベリアのバイオリン」という演目で御家族の窪田由佳子様より6年生に講演をしていただきました。内容は、戦争中に19歳で召集され満州で捕虜となってシベリアに抑留された窪田一郎さんのお話です。極寒と飢えで重労働をして希望が見いだせない厳しい抑留生活の中で自分たちで楽器を作り、音楽を通して捕虜の方々みんなを励まし、希望を与えたことなどピアノや深澤貴美子様のチェロの演奏を交えながらお話をいただきました。講演の中で、6年生に「どんな大変なときでもあきらめないで希望をみつけてほしい」「自分が夢中になれることを持っていてほしい」というメッセージをいただきました。

